

# 口腔顔面痛を究明する。ーこの痛みの原因わかりますか？ー

総括・座長：今村佳樹 先生（日本大学歯学部口腔診断学講座教授／日本大学歯学部附属歯科病院口腔診断科・ペインクリニック科科長）



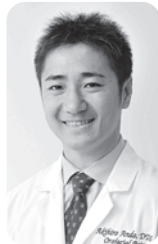
1981年3月 九州歯科大学卒業  
 1981年4月 同大学院入学(歯科麻酔学専攻)  
 1985年3月 同大学院修了  
 1985年4月 同大学助手(歯科麻酔学)  
 1986年8月 同大学講師(歯科麻酔学)  
 1987年4月 関東通信病院(現NTT関東病院)ペインクリニック科研修生  
 ~1987年10月  
 1994年4月 米国国立衛生研究所(神経科学・麻酔部門)特別無給研究員  
 ~1995年3月

1998年1月 九州歯科大学助教授(歯科麻酔学)  
 2003年4月 日本大学歯学部教授(口腔診断学)  
 現在に至る

日本口腔顔面痛学会指導医・専門医  
 日本頭痛学会指導医・専門医  
 日本歯科麻酔学会専門医・認定医  
 日本口腔診断学会指導医・認定医  
 日本口腔科学会指導医・専門医  
 米国口腔顔面痛学会専門医  
 日本口腔顔面痛学会理事  
 日本口腔診断学会理事  
 日本口腔内科学会理事  
 日本歯科医療管理学会理事  
 口腔顔面神経機能学会理事  
 日本疼痛学会理事  
 日本慢性疼痛学会理事  
 日本歯科麻酔学会代議員  
 日本口腔科学会代議員  
 日本ペインクリニック学会代議員  
 日本頭痛学会代議員

## 「痛みの原因が口腔内に見当たらない時」

講師：安藤 彰啓 先生（千代田区開業 あんどう歯科口腔外科）



痛みというのは目に見えない「感覚(知覚)」である。多くの場合は、その痛みを生じている「原因」を目にする事ができるが、神経障害性疼痛や心因性疼痛のように、その痛みの原因を目にする事ができない場合もある。我々歯科医師は、う蝕や歯周病のように痛みの原因が目に見える事が多いため、それが見えないのに患者が痛みを訴える場合は「気のせいである」と考えてしまう事は珍しくない。見えない痛みは、歯科領域では非定型歯痛、非歯源性疼痛、舌痛症、さらには不定愁訴という病名で表現される事が多い。しかし、それらの多くはストレスや精神疾患からくる心因性疼痛ではなく「神経障害性疼痛」に該当するという事が明らかになってきている。なお、「うまくいったはず」の根管治療後に残る痛みも同様で、炎症の持続による痛みではなく神経障害性疼痛も鑑別診断のうちに含められるべきである。臨床において、「何で痛みが残っているのだろうか?臨床所見は何も問題がないのに…感染が残っているのか?力のコントロールがうまくいっていないのか?」と疑問に思った事はないだろうか。もしかしたら、その原因は神経障害性疼痛なのかもしれない。本講演では、痛みを大きく3つに分類し、そのうちの1つである神経障害性疼痛に注目する。そこから、「原因不明」とされる痛みを診断するために必要な知識や糸口を明らかにしていきたい。

2010年 昭和大学歯学部 卒業  
 2011年 昭和大学歯科病院 歯科臨床研修修了  
 2013年 南カリフォルニア大学歯学部 口腔顔面痛・口腔内科センター Residency Program 修了  
 2013年 American Board of Orofacial Pain 専門医取得  
 2013年 American Board of Oral Medicine Board Eligible.  
 2013年 昭和大学歯学部 客員講師  
 2015年5月 あんどう歯科口腔外科(口腔顔面痛・口腔内科) 開設  
 2015年12月 Spark Medical: Presentation Workshop 主宰  
 2016年9月 Spark Medical: Clinical English Workshop 主宰

## 「見逃してはならない疼痛を見極める」～その痛み、RED FLAG(危険な痛み)か～

講師：野間 昇 先生（学47回）



歯科医師は一般的にレントゲンから痛みの原因を探す。そのため、主訴の痛みの診断にオルソパントモ写真、CBCTに頼ってしまう。しかし、痛みの特徴(病態生理)から歯牙由来か、咀嚼筋由来か、神経由来か、頭痛由来か、心因性かを聞き出すことは極めて重要である。口腔内外の痛みを主訴に歯科医院を受診する患者の中には、重大な疾患が隠れている可能性がある。本講演では、最初に開業医でできる口腔顔面痛の診査方法(1.familiar pain(いつもの痛み)の再現方法、2.スバチュラを用いた感覚検査、3.簡易的な脳神経学的検査)について解説する。最後に見逃してはならない疾患(脳腫瘍、側頭動脈炎、緑内障など)について講演していく。RED FLAG(危険な痛み)を見極める聴取項目「SNOOP」(これまで経験したことのない痛み、いつもと違う痛み、50歳以上の痛み、発熱を伴う顎の痛み)についても触れてみたい。

1973年 広島県生まれ  
 1999年 日本大学歯学部卒業(学47回)  
 同年 日本大学歯学部口腔外科学教室 第1講座入局  
 2009年～ ニュージャージー医科歯科大学 診断学講座留学  
 2011年  
 2012年 日本大学准教授(口腔診断学講座)  
 米国口腔顔面痛学会専門医  
 米国口腔内科学会fellow

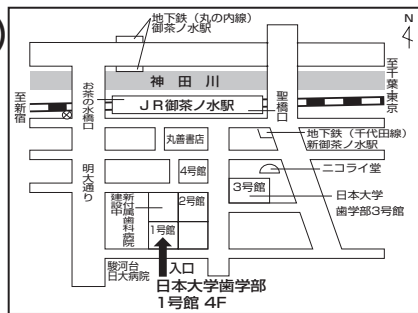
■ 日 時：平成29年10月29日(日) 12:30～17:00(12:00受付開始)

■ 会 場：日本大学歯学部 大学院大講堂(1号館 4F)

■ 受講料  
 (当日徴収)  
 日本大学歯学部同窓会会員 ..... 2,000円  
 日本大学松戸歯学部同窓会会員, 東京歯科大学同窓会会員... 2,000円  
 他大学卒歯科医師(卒後5年以内の方) ..... 2,000円  
 上記以外の方 ..... 5,000円

■ 定 員 先着200名  
 ■ 申込方法 事前にFAX又はE-mailにてお申し込み下さい。

FAX 03-3294-2800 E-mail:2012gakujutsu@sakura.email.ne.jp



交通機関  
 JR中央線 総武線：御茶ノ水駅下車 徒歩2分  
 地下鉄千代田線：新御茶ノ水駅下車 徒歩2分  
 地下鉄丸の内線：御茶ノ水駅下車 徒歩5分

お問合せ 日本大学歯学部同窓会 東京都千代田区神田駿河台1-8-13  
 お申込先 TEL.03-3294-2787 FAX.03-3294-2800

☆事前申込10月20日(木)まで。以降は当日受付にお越し下さい

ふりがな  
**受講者氏名**

**連絡先**

TEL

FAX

※該当する数字を○で囲んで下さい。受講料当日徴収。

**[2,000円]**

1. 日本大学歯学部同窓会会員 ..... ( 回)
2. 日本大学松戸歯学部同窓会会員 ..... ( 期)
3. 東京歯科大学同窓会会員 ..... ( 年卒)
4. 他大学卒歯科医師(卒後5年以内の方) ... (平成 年3月卒)

**[5,000円]**

5. 一般(上記以外の方)